

2023 年度 事業計画

コロナ禍も4年目となり、社会の対応も落ち着きを取り戻しつつあり、次なる段階に移りつつあると考えられます。また一方では、ロシアのウクライナへの軍事侵攻やエネルギー、原材料費の高騰等により、これまでより一層厳しい環境に直面し、社会の様相はますます不確実な状況になっています。

昨年、鉄道はこうした大変厳しく大転換の時代に開業以来150周年を迎えました。人口減少による地方路線の苦境やコロナ禍の影響により、JR各社は赤字経営に直面しました。その経営環境はコロナ禍が終息しても、人口減少や少子高齢化のため以前のような状態に戻ることは難しいのではないかと言われていますが、開業時の原点に立ち戻って地域の期待や利用者のニーズに的確に応え、その一つひとつに解を出していくことで、必ずや再生・復興し、十二分に本来の使命を果し、役割を担って行くことと確信しています。次なる50年に向けた歩みを止めないことに尽きます。

鉄道事業のフィールドで事業を展開している鉄道広告にとって、この間の厳しさは鉄道事業と何ら変わりはなく、鉄道広告は鉄道事業がいかなる状況下にあろうとも、本来の役割を堅実に果たしていくことが重要です。現在は大転換の時代であり、情報化の時代でもあります。企業においては、経営の在り方や考え方、働き方に至るまで大きく変わり、個人レベルにおいても人生観、働き方、価値観等々に至るまで変わってきました。こうした社会・生活場面における変化は、振幅の大小はあるにせよ止むことなく、むしろそのスピードは一層増していると思われます。この変化をピンチではなく、発想の転換によりチャンスと捉え、前向きにそして積極的に物事に取り組むことが必要です。そのためには、まず組織における経営方針を徹底し、いかに時代の先取りをしていくかに掛っています。

2023年度はこうした環境の中、鉄道広告の持つ公益性と果たすべき役割をあらためて認識したうえで、活力のある協会づくりや委員会のより一層の活性化に注力し、会員の皆様方のご協力を得て、次なる項目を重点課題として最優先に取り組んでいきたいと考えています。

1. 広告価値向上
2. 新規分野の開拓
3. 空き媒体の解消
4. 企業・地域間連携
5. 環境をはじめとする脱炭素社会の実現など
6. 新規会員の加入促進

具体的な各施策については次ページ以降のとおりですが、これまで取り組んできた諸施策にも創意工夫を加えるとともに、また新たな施策にも取り組み、これらの一つひとつの課題を解し、着実に実現することがマーケットのニーズに応えることに繋がり、そして鉄道広告の復権になると考えています。

2023 年度事業計画

1. 各委員会の主な活動目標

(1) 総務・財務委員会

- ・ 新規会員の入会懇話
- ・ 支部活動活性化支援
- ・ 年次報告書の作成
- ・ 他広告団体との交流

(2) 倫理委員会

- ・ 倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握
- ・ 鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施
- ・ 鉄道利用マナーUP キャンペーン実施
- ・ 広告倫理に関する事例研究の実施
- ・ 日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換

(3) 美観風致委員会

- ・ 環境委員会との共同による第 17 回地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・ 美観事例の収集と紹介
- ・ 美観風致に関する教育研修

(4) 環境委員会

- ・ 環境保全への取り組み状況の実態把握
- ・ 環境にやさしい素材の広告媒体情報の収集
- ・ 美観風致委員会との共同による第 17 回地球温暖化防止キャンペーンの実施

(5) 安全委員会

- ・ 安全管理に関する調査研究の推進
- ・ 安全作業に関する教育研修の実施

(6) 標準化委員会

- ・ 2023 年度版「全国鉄道広告料金表」の協会ホームページへの収録、公開

(7) 人材育成委員会

- ・ 「交通広告ビジネス概論 2023」の発行
- ・ 鉄道広告実務研修の実施
- ・ セミナー、シンポジウムの開催

(8) 技術開発委員会

- ・ デジタルテクノロジー等を活用した交通広告の価値向上や価値訴求に資する効果的先進的な取り組み事例（メタバース含む）の収集、紹介
- ・ 交通広告が他媒体との競争力を維持していくための、新技術を活用したメジャメントやプログラマティック DOOH 等の先進的な取り組み事例の収集、紹介

(9) 調査研究委員会

- ・ 効率的なメディアプランニングに関する研究の促進
- ・ e-販促データシステムの改良と利用者の拡大

- ・ e-販促データシステム研修の実施（活用方法、活用事例の紹介）
- (10) 業務近代化委員会
 - ・ 業務近代化に関する課題の提言
 - ・ 働き方改革の検討
 - ・ デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討
- (11) PR 委員会
 - ・ 「JAFRA NEWS」の編集・発行の継続と、掲載内容の充実
 - ・ JAFRA ホームページ改良による情報発信の強化
 - ・ 鉄道広告枠を活用した、各種啓蒙キャンペーンの実施に伴う特設サイトの開設
 - ・ 関係する外部機関との連携強化
- (12) アカウンタビリティ向上委員会
 - ・ 標準化委員会、調査研究委員会、業務近代化委員会と連携してアカウンタビリティ拡充・データ整備
 - ・ 関東交通広告協議会、日本広告業協会と連携して調査実施、データ整備
 - ・ 交通広告共通指標推定システムの運用及びシステム利用会員の拡大
 - ・ 交通広告共通指標推定システム研修の実施

2. 各支部の主な活動目標

- (1) 北海道支部
 - ・ 支部総会・懇親会の開催：7月
 - ・ 媒体講演会の開催：8月
 - ・ 媒体視察研修会の開催：10月
 - ・ 交通広告勉強会の開催：11月
 - ・ 新年懇親会の開催：2024年1月
 - ・ 媒体連絡会の開催：不定期
 - ・ 新規会員の入会懇話（以降各支部共通）
 - ・ 第17回地球温暖化防止キャンペーンの実施（以降各支部共通）
 - ・ 鉄道利用マナーUPキャンペーンの実施（以降各支部共通）
- (2) 東北支部
 - ・ 支部総会・懇親会の開催：7月
 - ・ 支部セミナー等の開催：7月
 - ・ 媒体視察研修会の実施
- (3) 首都圏支部
 - ・ 支部総会・懇親会の開催：7月
 - ・ 支部セミナーの開催：7月、11月、2024年3月
 - ・ 支部幹事会の開催：7月、2024年3月
 - ・ 鉄道広告実務研修の実施：10月
 - ・ 地域間交流の促進、交通媒体広告会との連携
- (4) 中部支部

- ・ 支部総会・意見交換会の開催：7月28日
 - ・ 支部セミナーの開催
 - ・ 支部幹事会の開催
- (5) 近畿・中国・北陸支部
- ・ 支部幹事会の開催：7月、2024年3月
 - ・ 支部総会・意見交換会の開催：7月19日
 - ・ 支部セミナーの開催：7月19日
 - ・ 交通広告実務研修会の実施：9月
 - ・ 関西交通媒体社広告会、関係諸団体との連携
- (6) 四国支部
- ・ 支部総会・懇親会の開催：6月
 - ・ 媒体視察研修会の開催：11月
 - ・ 支部講演会・意見交換会の開催：2024年2月
- (7) 九州支部
- ・ 支部総会・懇親会の開催：2023年8月8日
 - ・ 支部セミナーの開催：2023年8月8日
 - ・ 支部運営会議の開催：7月、2024年3月
 - ・ 西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携
 - ・ JAFRA NEWSへの掲載及び本部各委員会との連携強化